

スイートコーン

3月の農作業

作型 収穫適期の幅が狭いので、一度に多くまかないで、計画的に栽培する。一株に一穂収穫するように防除する。花粉が十分に雌穂にかかるように、一列に植えないようにする。マルチ栽培も良い方法。

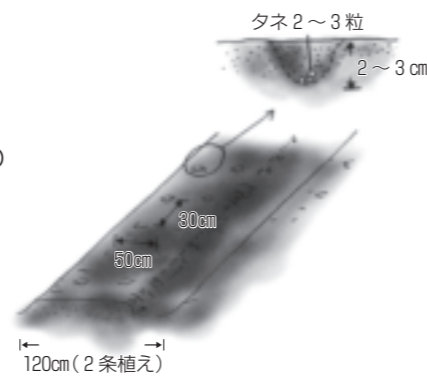
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春まき			○	○			■	■	■	■			キャンペラ(黄種)、カクテル、ピーターコーン(白黄粒)

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり	a当たり
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	15kg
BMようりん	2kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥	a当たり
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 2条まき：畝幅120cm 株間30cm 条間50cm
- 1ヶ所2～3粒まきとし、2～3cmの覆土をする。
- ポットまきの場合、2～3粒播種し、草丈10cm位で1本に間引き、15cmで定植する。



間引き・追肥・土寄せ

- 本葉4～5枚時(草丈15cm頃)：間引いて1本立ちとし、その後、追肥、土寄せを行う。
- 草丈70～80cm頃：土寄せを行う。
- 雄穂の出る頃：追肥後、土寄せを行う。(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料5kg/a)

除房

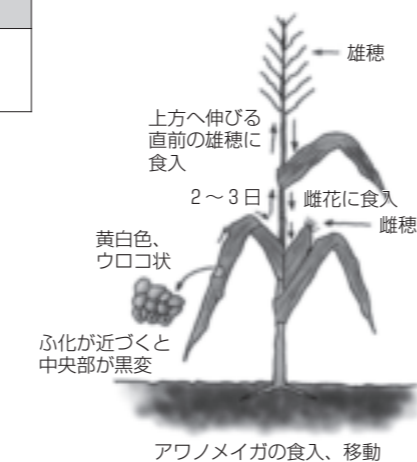
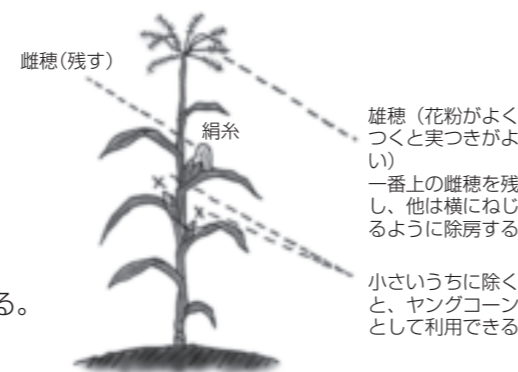
- 最上位の第一雌穂を残し、他は早めにかき取る。

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
アワノメイガ	幼虫を見つけしだい捕殺する	トレボン乳剤(1000倍)
アワヨトウ	除草を行う	7日前まで4回

収穫

- 絹糸が出て3週間後
 - 絹糸が黒褐色となった頃
- が収穫の目安
- 気温の低い朝に収穫する。(時間の経過とともに水分糖度が低下するので予冷を行う。)



裏面はピーマンを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.263 平成25年3月13日発行

ピーマン

3月の農作業

作型 連作を嫌うので、ピーマン、ナス、トマト等のナス科植物の跡地には3～4年作付しない。低温に弱いので、無理な早植をしない。

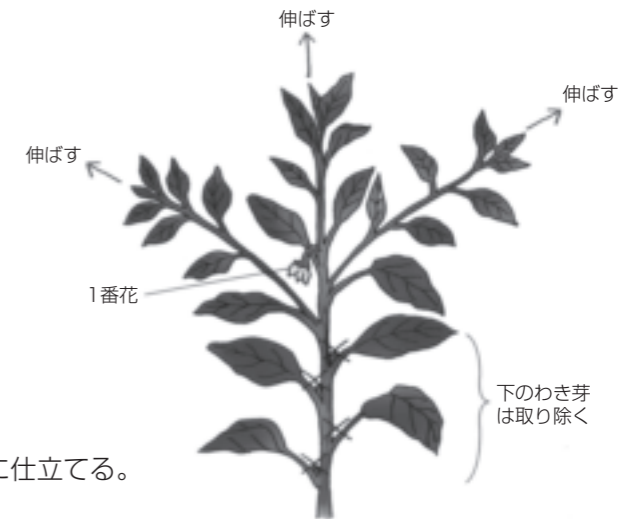
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
春植え				○	△		■	■	■	■	■	■	京みどり、グリーン800、京波

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり	a当たり
堆肥	400kg
セルカ(有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥	a当たり
醗酵鶏糞	50kg
野菜専用肥料	10kg
畝立時施用	

- 1条植え：畝幅150cm
- 株間45cm
- 深植えにならないように注意!



整枝・摘果

- 第1花(果)より下から出る2本の側枝を伸ばし盃状に仕立てる。
- 伸びてくる太い枝を支柱につり上げる。
- 生育が進み込み合ってきたら、日が良く当たるように、枝を間引く。

追肥・敷きわら

- 一番果の肥大始め頃から20日ごとに追肥する。(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料4kg/aまたは油粕8kg/a)
- 敷きわらは梅雨明け頃から厚く敷く。
- 窒素過多、高温、水分不足は石灰欠乏症である尻腐れの発生を助長する。(パプリカは開花してから完熟するまで50～60日かかる。果実が100g以上と大きいので、草勢維持に気を配る。)

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
疫 病	枝元を高くして植える 窒素の多施用を避ける 通風を良くする	リドミル粒剤2(2～3g/株) 株元散布 前日まで3回
ウイルス病	早めに抜き取る	アブラムシ類の防除を行う
アブラムシ類	光反射フィルムマルチならびにテープを用いる	トレボン乳剤1000倍 前日まで3回
ネキリムシ	幼虫の捕殺 周辺雑草の除去	ダイアジノン粒剤5(4～6kg/10a) 2回 定植時全面土壌混和

収穫

- 実が大きくなったものから早めに収穫する。
- 収穫が遅れると、赤くなったり黒ずんだりしてくる。

裏面はスイートコーンを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.263 平成25年3月13日発行